

白川勝利で 四国から 野党連合政権の扉を開こう

日本共産党

衆議院比例四国・名簿登載予定



13日、高松市で市民が企画したトーク集會に立憲民主党の小川淳也衆院議員と出席。消費税増税、コロナ禍で傷めつけられた国民生活をどうするのか、政治をどう変えるのか、熱く語り合いました。



四国いっせい宣伝の11日、JR 徳島駅前前で久保たかゆき徳島2区候補、山田豊県議、上村恭子前県議、見田治市議と訴えました。女性後援会員も応援。

「女性差別撤廃条約選択議定書」のすみやかな批准を求める運動などに取り組み徳島県女性協議会の大寺禮子会長と懇談。四国の衆院議員に女性の議席をと、盛り上がりました。

10日は、徳島市の3つのつどいをめぐりました。上八万支部のつどいでは女性が入党を決意しました。

9日、尾崎淳一郎香川3区候補と記者会見。中谷浩一県委員長が同席。

12日、香川県綾川町のつどいで安藤利光町議と。若い人の参加があり、学校教育の詰め込み、コロナやPCR検査、野党共闘や消費税について話し合いました。

坂出市では街頭演説会に取り組み、たくさんの方々が駆けつけてくれました。

「しんぶん赤旗」日曜版が「JCJ賞」の大賞に選ばれました。日本ジャーナリスト会議（JCJ）が、優れたジャーナリズム活動を表彰するものです。

田村智子参院議員が国会で追及した「桜」疑惑が一気に国政の重大課題に。地道な調査報道を重ね安倍政権の本性を明らかにしたスクープが、国政やメディアに大きなインパクトを与えたことが受賞の理由。今、TVや新聞からは「安倍政治礼讃」と「継承者」の報道が流れるばかり。誰のための報道かというジャーナリズムの根本が問われた結果です。

6日、「みんなで考える 香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」シンポジウムが日本共産党県議団と革新懇の主催で開かれ司会を務めました。県議会から自民党、社民・立憲・国民のリベラル会派・政党の各県議が参加する画期的な催しに。パネラーは馬場基尚弁護士、ネットゲ条例で訴訟を予定している高校生の渉君、秋山時貞県議が発言。会場からも立場や考え方の違いを越えて、一緒に考えていこうと積極的な発言がありました。

9日、香川県の2人の衆院選候補者を発表しました。一人目は改めまして四国比例代表の私。もう一人は香川3区の尾崎淳一郎さん。丸亀市議を5期務め、現在西讃地区の副委員長です。いよいよ総選挙が近づいていると感じます。四国で野党連合政権の扉を開くため力を合わせて頑張ります。

よう子記